

令和3年度 学校評価アンケート結果

柏市立豊小学校

1 概要

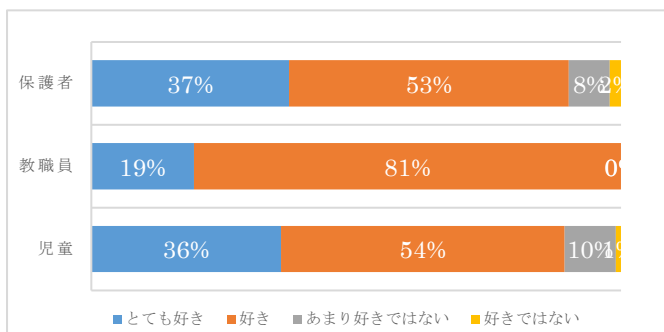
本校では、学校教育目標「心豊かに自ら学び自ら考える子の育成」を基本的な考えとし、本年度の重点目標「自分を大切にし、相手の気持ちを考え自分から進んで行動する子」を目指し、教育活動に取り組んできました。また、昨年度に引き続き、新型コロナウイルスから子ども達を守るため、より一層安心・安全に気をつけて教育活動を進めてきました。新型コロナウイルスへの対応のために、子ども達に様々な制約をし、また学習の保障についても心配された1年でしたが、各問いへの回答を見ると「肯定的な評価」をした児童の割合が、昨年度3学期とほぼ変わらない結果が得られました。職員一同、一安心したところです。様々な形で保護者の皆様にご理解とご支援をいただき、コロナ禍の中でも工夫して子ども達の学びの保障ができた結果であると思います。心よりお礼申し上げます。

2 学校教育目標の具現化に向けた取り組み

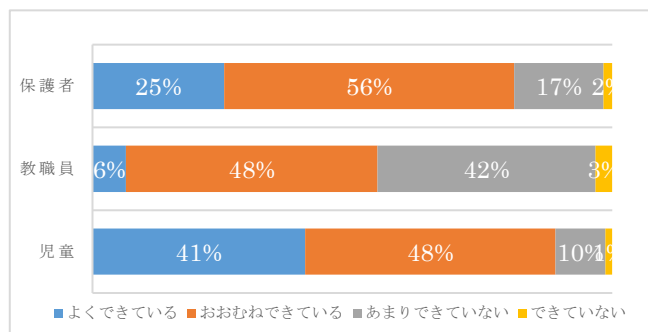
(1) (徳) 豊かな心の育成

<上：保護者 中：教職員 下：児童>

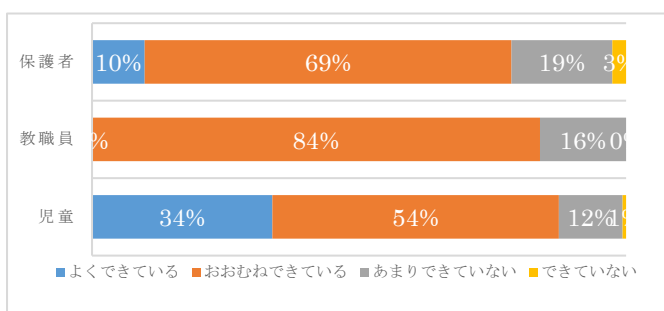
1 学校が好きですか



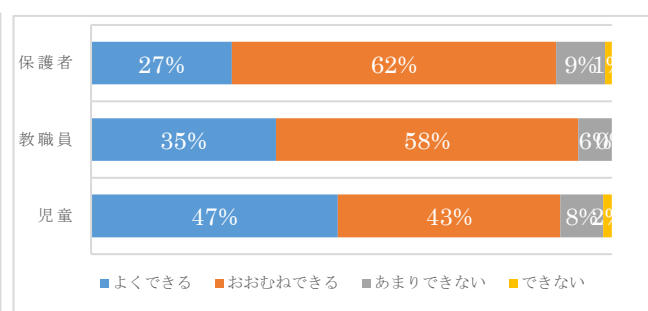
2 元気な挨拶ができますか



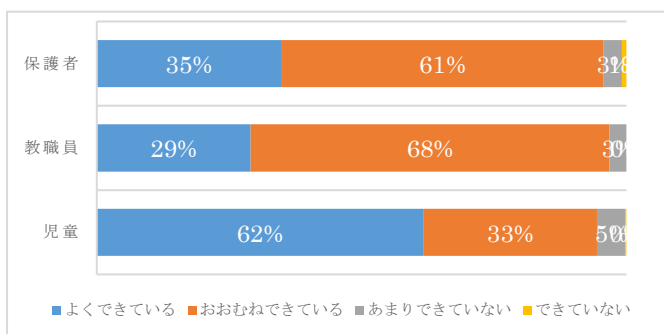
3 丁寧な言葉遣いをしていますか



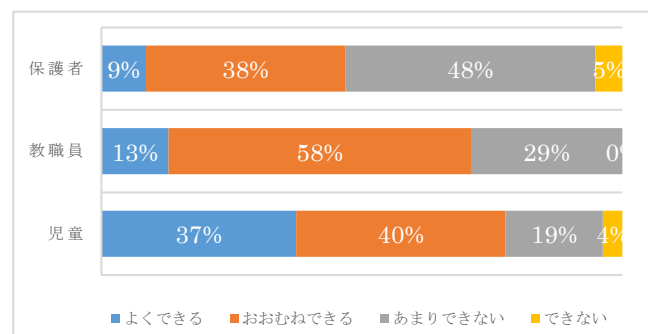
4 学校で困っている友達がいたら助けますか



5 友達と協力して活動することができますか



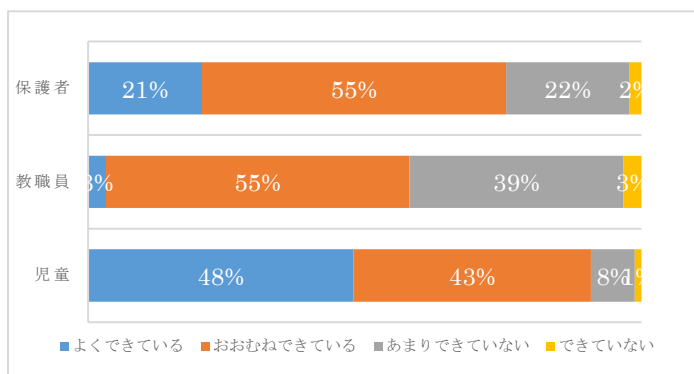
6 友達の悪口を聞いたら、 言った子に注意すると思いますか



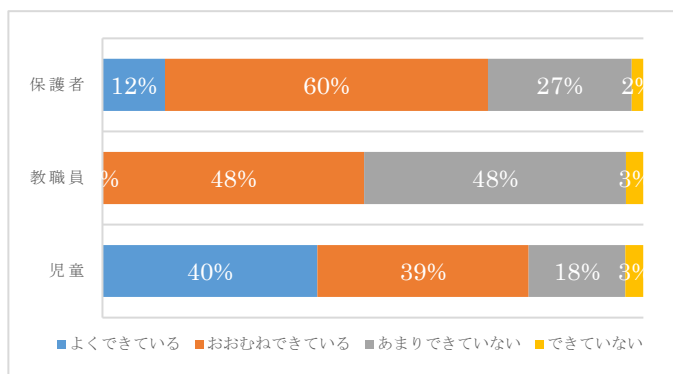
「2 元気な挨拶はできているか」では、児童と保護者、教職員の結果に差があるようです。コロナ禍においてマスク越しの元気な挨拶は、なかなか難しい現状があります。また、家庭では挨拶ができていても、学校や地域では十分でないことが考えられます。校内での挨拶は「自分から」「場に応じた挨拶」を心がけるよう指導していますが、まずは大人が手本となり、子ども達に声を掛けてき、地域やボランティアの方々にも挨拶を広げていけるように今後も継続して指導していきます。ご協力をお願いします。「4 学校で困っている人がいたら助けるか」「5 友達と協力して活動できるか」では、「肯定的な評価」をした児童・保護者・教職員が9割を超えています。しかし、約1割の「否定的な評価」を無視することはできません。それが「いじめ」につながるようなことであればなおさらです。日常の変化に気づくとともに、いじめアンケートや面談により困り感を持っている児童にいち早く気づき声かけをしていくことが大切だと考えます。今後も「いじめは決して許されない行為」であることを指導してまいります。何か心配なこと等がございましたら、保護者の皆様からのご相談いただきたいと思います。

(2) (知) 主体的で論理的な表現

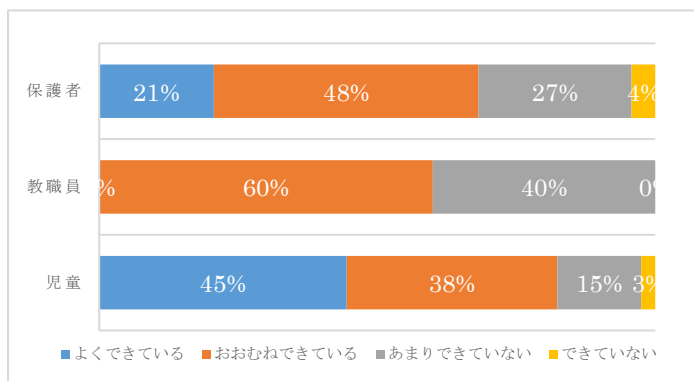
7 話をよく聞くことができますか



8 自分の考えを相手に伝えることができますか



9 家庭学習に進んで取り組むことができますか

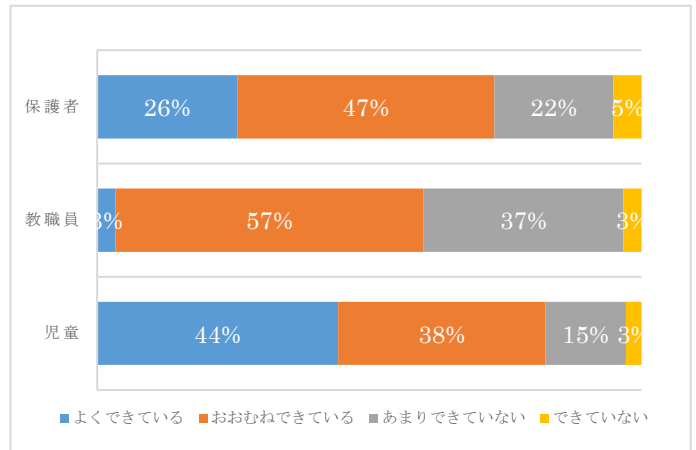
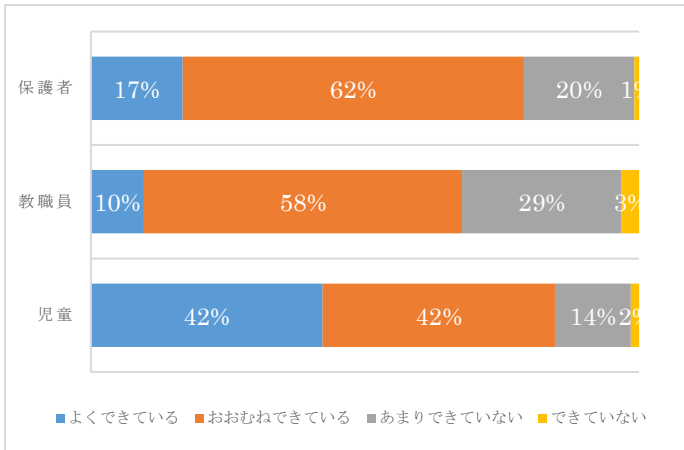


「7 話をよく聞くことができますか」や「8 自分の考えを相手に伝えることができますか」の結果から、話はよく聞いているが自分の考えを表現することが苦手とする児童が多いことが伺えます。多様な表現活動を通して児童が主体的に学べる授業づくりに今後も努めていきます。また、「9 家庭学習に進んで取り組むことができますか」では、児童の肯定的な評価が昨年度と同様の結果が見られました。保護者の協力のもと、短縮日課中でも課題にしっかり取り組んだり、宿題を忘れずに提出したりして学習習慣が少しずつ身についてきた結果であると思われます。今年度はGIGAスクール構想の取組が前倒しとなり、一人1台の端末が配備され、宿題の内容も少しずつ変化してきました。ノートやプリントでの宿題の他にも端末を使った宿題も今後さらに増えてくると思います。それぞれの良さを生かし、主体的に宿題に取り組めるよう指導していきます。また、学年の発達段階に応じた自主学習に取り組んでいけるよう家庭と協力しながら進めて参ります。

(3) (体) 健康と体力の向上

10 自分でできることを進んで行うことができますか

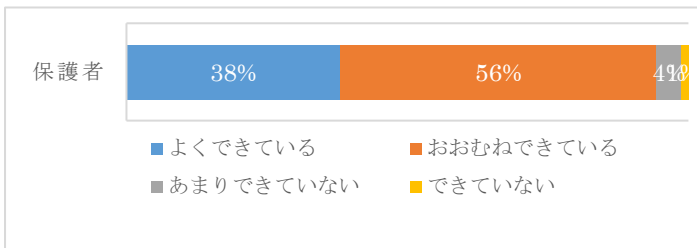
11 食事に関心を持ちバランスのよい食べ方ができますか



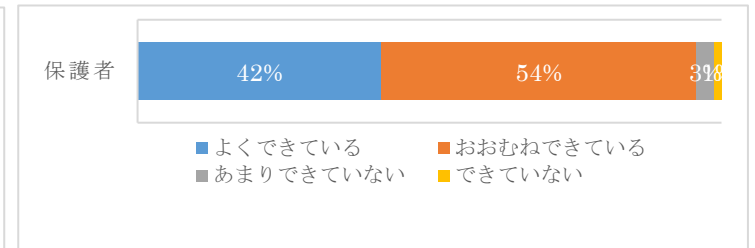
「10 自分でできることを進んで行うことができるか」では、係活動や当番活動、委員会活動、清掃活動などが一人一人が責任を持って仕事を行ったり、授業を通して体力の向上と心のバランスを図ったりできるように指導してきました。休み時間は、遊びの空間が密にならないような取り組みをしながら子ども達の体力向上を目指してきました。しかし、コロナ禍であることや夏の気温の上昇等もあり、積極的に外遊びの声かけができないことがありました。そのため、室内で過ごす児童も増えました。今後も状況を見ながら声かけし、児童の健康と体力の向上への工夫を図っていきたいと思います。「11 食事に関心を持ちバランスの良い食べ方はできるか」では、児童は肯定的な評価が8割と高く、保護者や教職員は評価が低くなっています。偏食等については個人差が大きい状況ではありますが、声かけを継続していきます。今後も家庭と連携を図りながら「食育」に努めて参ります。

<保護者：学校に望むこと>

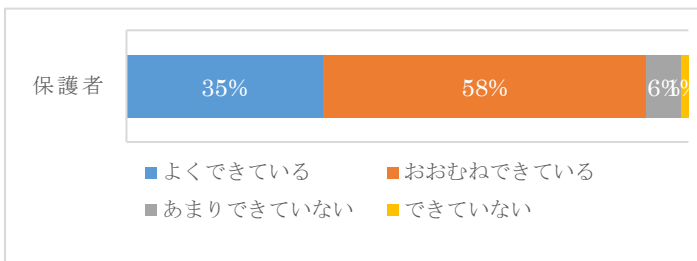
12 児童の可能性を信じ、ともに成長しようとしている



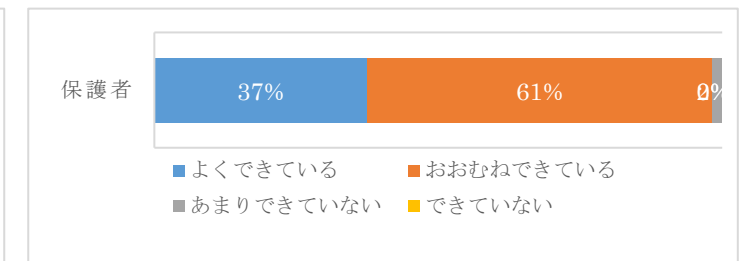
13 「信頼される教師」を目指している



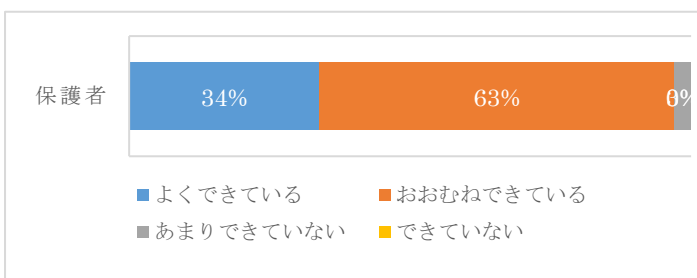
14 児童一人一人のニーズに応えた指導及び支援を目指している。



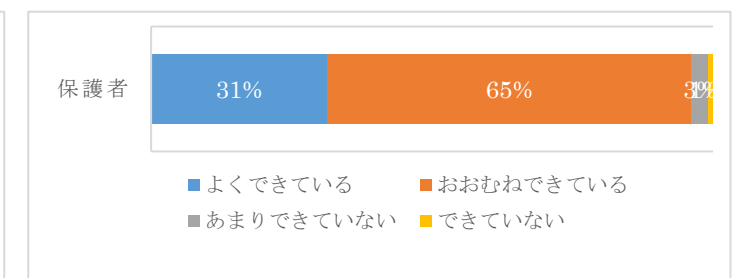
15 安全対応など危機管理意識を持っている



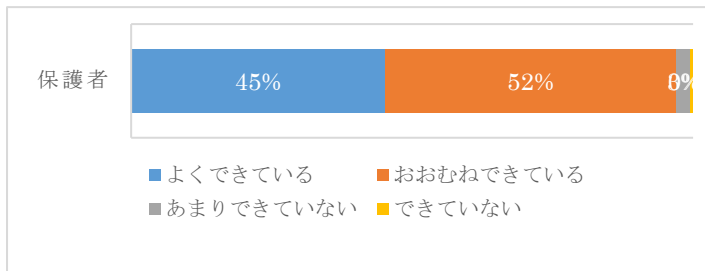
16 校舎内外の環境美化に努めている



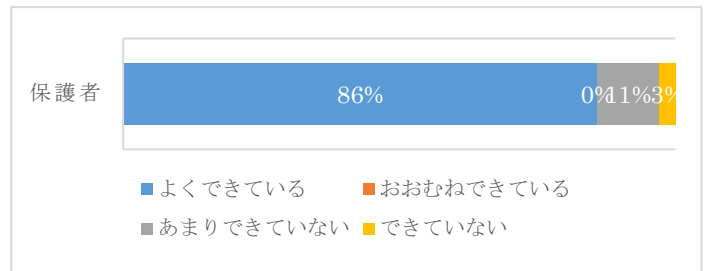
17 生徒指導体制を組み、組織として対応している



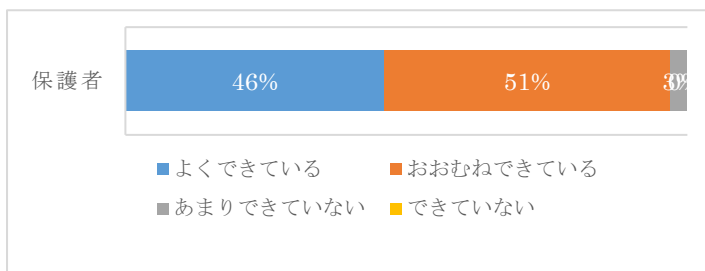
1 8 各種お便りやHP等で学校の様子を伝えている



1 9 PTA活動や地域活動に積極的に協力している



2 0 特色ある教育活動（読書活動、ステップアップ学習会、みんなでの子育て広場等）の実施に努めている



(4) 学校に望むこと

「1 2」～「1 8」「2 0」の項目については保護者の方から概ね9割を超える「肯定的な評価」をいただいておりますが、「ややそう思う」が半分を占めており、改善の余地があると思われま。

「1 9」については、8割を超える「よくできている」という評価をいただいております。本来給食試食会やボランティア活動等様々なPTA活動ができていたところですが、それができない状況が2年ほど続いています。しかし、今年度はそのような状況下にあっても「子ども達のためになる活動をしていきたい」という願いのもと、PTA活動や地域行事もできる限りの感染予防に努めながら形を変え取り組んできました。皆様には、本当にご協力いただき感謝申し上げます。今後も教職員一同、「With コロナ時代」のやり方を模索しながら、PTAや地域とより一層連携を図っていきたいと思います。

【自由記述】

- ・6年を通して、豊小はとても良い学校でした。子どもは年々、学校生活に積極的になり先生や友達にも恵まれ感謝しています。
- ・先生方は色々と本当に子どもたちのために頑張ってくれているとは思いますが、学校内での出来事は先生方しか対応出来ないのも、みなさんでよく見て頂きたいです。
- ・図書館指導員の先生が赴任されてから子供が「図書室に行きやすくなった、質問しやすい、オススメの本を紹介してくれる」と喜んでます。幅広いジャンルに興味を持つようになったので、ありがとうございます。
- ・この度の娘の不登校に関しまして、お忙しい中ご尽力頂きまして、誠に有難うございます。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。
- ・HPに児童の様子を逐一upしていただいたり、電子メールでお便りを見ることが出来たり、先生方の生徒に対する思いや保護者との距離を縮めていただいている努力にいつも凄いなあと感じています。いつもありがとうございます。
- ・いつもありがとうございます。

・いつもご指導いただきありがとうございます。子供が毎日元気に楽しく通えている現状に大変満足しています。

・いつも大変お世話になっております。息子は先生に恐怖感を持って以来、学校に対する恐怖感・不安感・緊張感が強くあり、人の怒る声、怒られそうな雰囲気にとっても過敏になってしまいました。元々持っていた性質ではありますが、より顕著になってしまい登校することが困難な状況がずっと続いています。学校の先生方のサポートのお陰で何とか不登校にならずに休みがちではありますが、登校出来ていて、担任の先生はもちろん、他の先生方にもサポートしていただき大変感謝しております。また校長先生にも温かい言葉をかけてもらったと本人が言っていて、怖い先生ばかりでないと息子が思えたことも不登校に至らずに済んでいる理由の1つだと思います。ありがとうございます。その一方で、出席したくない教科もあり、叱ることも大切ですが、その叱り方が怒るになっていないか、ヒステリックになっていないかや伝え方を今一度見直して欲しいと思っています。息子からだけでなく他のお子さんからも同じ話を聞きますので…。様々な子がいる中で先生方も大変だとは思いますが、先生が理由で登校したくないというのは本末転倒だと思いますので、意識の見直しはもちろんです。可能であればサポートの先生を入れるなど何か対応していただければと思います。最後になりますが、息子のような難しい生徒にもきちんと対応していただき感謝しております。今後とも宜しくお願い致します。

・かがやき学級に、支援員の先生を増やして下さい

・ご指導ありがとうございます。学校生活や課題を楽しんでいます。持ち物を早めに教えてもらえて、とても助かります。

・ステップアップのお迎えは、時間が早くなって6時間の終了時間と大して変わらないので、いらないのではないかと思います。

・どんなことでも親身になって話を聞いてくださる先生がとても多いのでいつも感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

・もう少し学校に教科書を置いてきて良いことにしてほしいです。アイパッドをランドセルに入れているので、重さも増して、またランドセルに入り切らないときがあり、横にかけたり両手に持たせたりで危ないと思う時がありました。

・もう少し宿題の量を増やしても良いと思います。

・一部児童の影響で、教室で落ち着いて授業を受けることができないと子供が話しています。学習意欲、ひいては登校の意欲を削いでしまうので、改善を求めます。

・学区内の地域（学校外）で保護者や生徒に会ったときの教職員が油断している。挨拶しないなど。

・学校には相談していませんが、担任の先生が嫌で学校を休みがちになっています。理由は、子供が休み時間に話を聞いてもらいたくて先生に話しかけたら「仕事中だから！」と断られた事が何回もあったり、授業中に教科書の用意をしようとしたりしたが、先生の話が始まったので、聞いてからにしようしたら「教科書ないの？」子供は「あります。」と答えると、子供に聞こえる声で「出せばいいのに！」と独り言を言ったそうです。

・学校や先生方にただただ感謝の思いです。子どもたちや保護者のためにご尽力いただきましてありがとうございました。

・学校外へ児童の個人情報を出す際には、必ず保護者に連絡と確認をして頂きたいです。何度か危機管理面に不安を感じました。担任の先生は学校でのトラブルなどこまめに連絡くださり、丁寧にご対応いただき感謝しております。GIGAスクールでは、もう少し家庭にタブレットを持ち帰らせ、端末に触れる機会を増やして端末の使用に慣れるように支援して頂きたいです。この一年で、まだ『文房具と同じような身近な道具』としての活用がされていないように思います。

・学習相談室に通っている間、勉強に取り組む子供を見守って頂き、ありがとうございました。学校では、担任の先生以外の先生の授業等でも、それぞれの子供に合った指導が行われ、子供が戸惑う事が少ない環境があると思います。学校に行かれない子供の勉強に関して、どんな物に取組めば戻った時に授業に参加して行かれるか、アドバイスを頂けると戻る機会が増えて行く様に思います。

・記名だと学校の指摘事項は書けない方が多いかと思います。無記名の方がより多くの意見を聞くことが可能かと思います。記名なのは、意見抑止のためなのかなと思いました。子供の事については、記名にして、学校については無記名と、回答を分けて良いのではないのでしょうか。

・意見要望ではありませんが、質問 20.21.24 について、選択肢には無い「分からない」が本音です。

・休み時間は、体を使って自由に遊ぶ時間を増やして欲しい。

・給食の回数を増やしてほしいです。

・欠席の時に、電話で先生と頻繁に連絡をとることができ、今では毎日元気に通うことができるようになりましたので先生には感謝しております。

・子供の可能性を見出してほしいです。悪い点ばかりでなく良い所をたくさん褒めてほしいです。

・宿題は一週間単位で出して欲しい（塾の宿題と調整する必要があるため）。怒るとき、子供の言い分を聞いて欲しい。

・親の責任もあることを前提に恐縮ですが、意見させていただきます。子どもがどうやったら、家庭でも意欲的に学習に取り組むかをもっと考えて欲しいと思います。学校での勉強が楽しく、もっと調べたい、学びたいと思えば自然に子どもは自宅でも勉強すると思います。どうか『北風と太陽』の太陽の様な取り組みを期待しています。

・先日、校長先生にも息子のことで連絡いただきましたが、子どもを呼び捨てで呼ばれた中のお話で違和感を感じました。子どもが友だちとのトラブルで解決していないのなら明日学校で校長先生が話を聞きましょうと言ってくださいましたが、次の日子どもが学校を欠席するとそれ以降、子どもへのその内容についての対応はなく、子どもの事を親身には考えてもらえないと感じました。そして、担任の先生については、保護者に対して担任は若いから育てると言っていますが、子どもへの対応も十分にしてくれないのに先生へ対しては守る義務があると言うのは、違和感しか感じませんでした。勉強面は家でも教えられますが、生活面、友だちとの関わりの面では、学校でしか学べない事が多くあると思います。その対応が十分されているとは、管理職を含めて思えない対応でしたので記入させていただきました。年度末の取りまとめの際、教えていただけたら助かります。

・大変お世話になりました。引き続き3学期もご指導のほどよろしくお願い致します。

・担任が怖くて学校に行きたくないと頻繁に泣いて訴えています。とても学校を楽しみにしていた子供が、泣きながら何度か登校拒否を試みたため話を聞き出しました。子供から聞いた担任の怖い様子は信じがたく、誇張して言っていると思っていましたが、リモート授業の際に横で聞いていたところ、担任の注意の仕方が低学年に対する対応でないと感じました。高圧的かつ大した事でもない内容に怒鳴る様子もみられ(担任自身の聞き間違いや勘違い含む)、この環境は健全ではないなと感じました。(子供の言っていた事が誇張していないことがその時判明し、日頃から担任が感情的になって注意していると思っている)あの環境では子供は萎縮するだけです。『来年も同じ先生ならどうしよう』と度々泣いています。職場環境なのか、先生の資質なのかは解りかねますが、いじめ対策より早急に改善を願います。

・担任の先生がいろいろなことにチャレンジさせてくださっています。時に厳しい指導もあるようですが、生活年齢沿った指導に感謝しています。

・担任の先生がたくさん声をかけてくれているようです。本人のやる気を高める指導に感謝しています。

・転入してきて不安はありましたが、楽しく1.2学期を過ごすことができたようです。相談も気軽にできる担任の先生で、子供にとって心強かったと思います。引き続き3学期もよろしくお願い致します。

- ・登校拒否で学校に行けない日があります。今はコロナを理由に休んでいる子のみ対象と聞いていますが、登校拒否の子供にもオンライン授業を対応していただけると助かります。
- ・二学期クラスで[頑張っていた賞]をいただきました。一学期も同様の賞をいただきましたが子供に聞くといつも同じ子が選ばれているようでしたので、出来るだけ多くの児童に賞が行き渡るよう配慮頂けたらと思います。
- ・入学してからずっと授業が楽しいと言っているので、これからも引き続き学ぶことが楽しいと感じる授業をしていただきたいと思います。
- ・母の作るお昼ご飯より給食のほうがおいしいとよく言われます。おいしい給食ありがとうございます。
- ・毎日の荷物が重い。Chromebookが入っている為、他の教科書・ノート持ち歩きを極力、減らしてはどうでしょうか。
- ・毎日元気に通っていて、感謝しております。

保護者の皆様からの貴重なご意見、ありがとうございます。子ども達一人一人に寄り添い、励ましていくのが教師の役目と考えます。一つ一つの思いを真摯に受け止め、今後の指導に生かしていきたいと思えます。子ども達の日頃の様子を保護者に伝え、保護者からの相談にも応えていけるようにしていきます。

- ・運動会、音楽会、修学旅行等様々な行事を、先生方の努力で開催していただきありがとうございました。そこに向け努力する子供の姿に感動しました。
- ・いつもありがとうございます。もしできたら、授業参観を土曜日にしていただけるととてもありがたいです。
- ・コロナで、感染対策など とてもご苦労されていると思います。その中でも、行事や学習方法を色々と考えて下さり、いつも感謝しております。
- ・コロナ禍で、出来る行事を考えていただき、ありがたいです。校庭で歌声を聴くことが出来、嬉しく思いました。ただ、屋外で感染が落ち着いている時期であったにも関わらず、1名しか聴くことが出来ず、撮影も禁止、写真も1枚500円と高額で残念に思いました。
- ・学校行事が見に行ける機会が増えるといいですね。イベントの写真はLサイズをお願いします。たくさん買えません。
- ・ミュージックコンサートの写真について。プロとは思えないクオリティーの低さ、素人でももっとまじに撮れる。あんな写真が一枚五百円とかふざけている。あんな小さくなくていいからL版で百円くらいにして欲しい。フィルターを通さずちゃんと子どもを目でみてもらうために保護者による撮影を禁止するなら、まあ写真をとるか、価格を下げるかしてください。あんなレベルの写真しかとれないなら保護者の撮影を許可して欲しい。
- ・ミュージックコンサート、修学旅行の写真の出来が悪過ぎです。HPの写真がとても素敵に撮れているので、比較にならないほどです。修学旅行の写真に関しては650枚中120枚がシャチの写真です。何を撮影しに同行しているのか、と疑問です。
- ・ミュージックコンサートで保護者が写真を撮れず、特定の業務が収入を得るのはおかしいのではないかと。修学旅行等なら理解できますが。
- ・ミュージックコンサートのスナップショット写真の販売について、値段と写真サイズの設定がおかしいと思います。来年以降価格の見直しや撮影を許可していただくなど、対処いただくと嬉しいです。
- ・ミュージックコンサートなど、人数制限や撮影禁止なのに写真やDVDの料金が安い。せめて質に見合った料金にして欲しい。出来ないのであれば人数制限や撮影方法などを考えて欲しい。

・1年目ということやコロナ禍もあって、教職員や学校のことに関しては正直あまり良くわかりませんが、子供の様子を見る限り、おおむね良くいただいていると思っています。

・限りある規制の範囲内で最大限にどうしたら行事が遂行できるかを先生方が考えてくださったので、受け取る側としてもとても満足で嬉しい限りでした。本当に思い出に残る学年になりました。卒業まであと少し引き続きがんばっていただけたらと思っています。

・行事について保護者の撮影を禁止するのなら、保護者側が満足するような撮影業者を選んでほしいです。特に今年度の写真は、高いお金をとる割にはちょっと残念でした。

豊小ホームページにあげられている写真の方が行事の様子や子どもたちが楽しそうに参加している様子などがよくわかり、欲しいなと思いました。保護者目線でもっと撮影して欲しいです。

・参観等、校庭や分散にするなら、参観は出来れば二人までにして欲しいです。

今年度も「まん延防止等重点措置」が発出されたり、短縮日課が続いた時期があったりとコロナウイルス感染症による影響が大きく、例年行われていた行事等においても、中止や延期になり保護者の皆様には日程や内容についてお知らせするのが直前になってしまったこと、大変心苦しく思っております。次年度もコロナウイルスの感染拡大防止による影響が考えられます。できる限り早急に、保護者の皆様にお知らせできるよう努めて参ります。ホームページの充実についても進めて参ります。

また、今年度培ったコロナ禍ならではの行事等を参考に、次年度においても子ども達の笑顔が届けられるよう、参観の方法等も含め、行事等の在り方について検討していきたいと思っております。

・学校から正門を出る際、右側の角に交通安全のポスターや旗があったりしますが、右側の視認性が悪いところをさらに悪くしていると感じます。夜に車でルームのお迎えをしています。正門から出る際にカーブミラーがなく、塀で右側の道路状況が確認しづらいです。カーブミラーの設置は長年要望を出していますが実現が難しいようですが、右側の塀の隙間から少し見える交通状況が、ポスターや旗があると塞がれてほとんど見えなくなってしまいます。

・夜のお迎え時、正門側駐車場付近がとても暗く、危険に感じます。ソーラー式で良いのでセンサーライトなどを設置して頂けないでしょうか。

・高学年のトイレについて。学年によって使用できるトイレが限定されていると聞いています。五年生を使用するトイレはとても古くて生理的にしよする気になれない(無理)と、夏でも水分量を減らしたり、限界まで我慢したりして、帰宅と同時に自宅のトイレに駆け込んでいます。日々膀胱炎になりはしないかと心配しています。職員室のトイレは綺麗なのに・・・と言われ、なぜ？と問われても説明することができませんでした。掃除をしてどうこうなるものではないことはPTA活動(トイレ掃除)を体験して認識済みです。五年生がトイレを汚したわけでも古くしたわけでもないのに、五年生がそのトイレだけしか使わせてもらえないというのは確かに理不尽だとも思います。しかし低学年のトイレに高学年が押し掛けるのは、好ましいことではありません。せめて、職員室のトイレを利用してもよいとしたり、どこか綺麗なトイレを学年問わず利用できるようにしたりするなど何か策を講じていただければと思います。

・図書ボランティアをさせて頂いていますが、雨が降ると出入り口(校舎と図書室のつなぎの部分)が濡れてしまいます。上履きが濡れてしまい滑って危険です。改善して頂けるとありがたいです。

・学校に登校、下校した際にメールがくるカードがあると安心。

・学校外へ児童の個人情報を出す際には、必ず保護者に連絡と確認をして頂きたいです。何度か危機管理面に不安を感じました。

・学校周辺の横断歩道は、信号がついていなかったり白線が消えていたり、危険な箇所が複数あるため心配しております。保護者が付き添っていても、ひかれそうになることもありました。

・机の幅を大きくして欲しい

- ・狭い歩道でランドセルを引っ張りあって帰る様子を直々見かける。事故に繋がりがねないので指導してほしい。
- ・今年の夏に急な悪天候での豪雨時に下校させた時があったかと思います。いろいろ調整が難しいとは思いますが、豪雨の場合はメール送信後でも学校に待機させた方が良いのではないかと思いました。子どもたちは足首まで浸かった中帰ってきて体調面や安全面において良くないですし、同行する先生方も大変そうでした。
- ・子ども達のマスクを任意に！
- ・中学年、高学年の登下校様子について。よく道端いっぱい広がって歩いている児童を見かけます。一般の方々がすれ違えずに居たりします。再度見直しをお願い致します。
- ・長男が在学中の時は不審者情報等の情報が即日発信されていたが、現在は発信がないと感じます。減少しているなら良いのですが、他校の親から情報が入ることがしばしあるので以前のように発信は行っていただけると安心します。また、子供ルームの職員への伝達がされていないのか職員が行事等を把握されてなく困惑されているのが見受けられるので連携について考えてほしいです。
- ・不審者出没情報などがあり、不審者が捕まってない、また近隣で交通事故が起きたなどの情報は、保護者へのメールのみだけでなく、担任の先生からも生徒達へ、最近こういう事が起きているから、一人で帰らない様にや、助けの呼び方、逃げ方の指導、事故を防ぐ為の帰り道の歩き方などの注意を、できる限り、その都度呼びかけてほしいです。
- ・昨年度の学校評価アンケートのご報告がされていないような気がするのですが…。HPにはR1年度の結果報告しか見当たらず…。他校ですが、ステークホルダーからの意見や要望全て(マイナス意見も)を公表しているところがあり、その透明性に感心しました。

今年度は、豊小における交通事故の報告が1件ありました。学校でも児童の安全について、「道路の歩き方」「自転車の乗り方」など学級指導をしていきたいと思えます。安全指導へのご協力をよろしくお願い致します。また、不審者情報は、近隣の学校からの情報を含め20件ほどありました。今後も警察とも連携し、子ども達の安全を見守っていきます。また、地域の危険箇所等につきましては、市にも要望をあげているところです。今後も地域や保護者の協力のもと見守り活動を進めて参りたいと思えます。

学校の施設につきましては、市の「施設設備事業計画」をもとに工事の予定が決定されていきます。トイレの改修工事も本来であれば今年度実施される予定でしたが、コロナの影響で遅れが生じているようです。子ども達にはご不便をかけ大変申し訳なく思っております。使い方等を含め、子ども達が少しでも快適に過ごせるよう配慮していきます。

3 学校運営協議会委員の皆様から

- ・(徳)豊かな心の育成(知)主体的で論理的な表現(体)健康と体力の向上、〈保護者が学校に望むこと〉〈自由記述〉と数値化、自由記述を含めて総合的に評価されており、豊小の実態を把握することができた。保護者、教職員、児童と評価の温度差は若干あるものの傾向は捉えることができるので、考察にあるように工夫改善しながら、より学校教育目標を達成できるよう具体策を考え、次年度につなげていくことが求められると思う。令和3年度の学校評価を基に令和4年度の学校経営案を立てていくことに期待する。
- ・今年度も続いたコロナ禍での教育活動。マスクでの生活が当たり前になり子どもや教職員の表情も十分読み取れない時も…。互いに不安やストレスを感じた日々も多かったことであろう。そのような日々の中で子ども達の育ちのために“何が出来るか”一生懸命考え、実現していった先生方のご苦勞と努力に敬意を表したい。
- ・教育の形態もGIGAスクール、オンライン授業等々加速していくが「人を育てる」場としての学校の役割が何であるのか今一度立ち止まって考えてみたい。
- ・2年以上も続くコロナ禍で、非日常的な生活が続く中、学校の授業も感染対策で予定通りの課程ができず、先生方も苦勞の連続だったと思います。全体的に評価も子ども達が一定の高い割合で評価しているようで安心できます。一つ気になることは、先生が怖くて不登校になっている子どもの例が記されていることです。今の子

ども達は核家族化が進み、兄弟も少なくどちらかと言うと甘やかされて育てられています。親も子も自己本位の傾向があります。兄姉や祖父母から叱られる機会も少ないでしょう。そういった子ども達は、先生に一度強く言われると恐怖に感じることもあると思います。その点を理解しないと解決はしないと思います。豊小の「思いやり」については、子どもに対しても親や先生方に対しても求められる課題のように思います。

- ・「学校が好きですか」の設問に対して9割以上の児童、職員、保護者が「学校が好きだ」と答えていることは評価できるし好ましく思う。「好きではない」1割の児童にも目を向けて欲しい。これは不登校の問題にも関係すると思うが、学校側に起因するなら改善に取り組む必要がある。ほとんどの先生方の評価は高いが、一部の先生方のちょっとした言葉遣いや対応の仕方に心を痛めている子ども達がいる。このことをしっかりと受け止め、日々心して対応していくべきではないか。
- ・一般的に先生に対して保護者が苦情や苦言を呈することが多いが、豊小の先生方においては感謝の言葉が目立つのは素晴らしい。先生方も頑張っているのだと評価できる。
- ・「自分の考えを相手に伝えることができる」の基本は相手の話を聞くことであり、聞くことの大切さを学んで欲しい。しかし、この前提として、話す側も子ども目線に立ってわかりやすく話すことが必要不可欠と思われる。子ども達の理解度を確認しながら話すことで、子ども達もより話に興味をもて、しっかり聞くことができるようになると思う。
- ・保護者・児童から肯定的な評価の割合が高いのは、学校に対する信頼が厚いのではないかと思います。「おおむねできる」から「よくできる」が増えてくると更に良いです。
- ・挨拶について、2学期の集団下校中引率の先生は保護者には挨拶をしていましたが、地域住民は素通りでした。保護者や先生、大人が学校の外で率先してやらなければ子どもはやりません。その関わりの中で危険かどうか学習していくのではないのでしょうか。
- ・自由記述を見ると、保護者の学校に対する要望がかなり増えてきているように感じます。共働きや一人親家庭が増えて子どもと関わる時間が減っているのでしょうか。本来の業務以外の負担が増え、先生方の仕事に支障をきたすのではと危惧しています。
- ・コロナの影響が未だ残り、学校行事も制限がかかる中、できることを模索しながら少しずつ学校行事を再開していただけたことは高く評価。子ども達、そして保護者の皆様にも納得してもらえるように大変尽力いただき、またできない理由を探すのではなく「何ができるのか」という姿勢で取り組んでいただいたと感じる。また、オンライン授業と対面授業のハイブリッド授業も積極的に活用し、個人によって差があるコロナへの対応にも柔軟に対応していただいていることは、子ども達そして保護者への安心感にもつながっていると感じる。
- ・概ねとても良い結果だと思う。統計について児童と大人（保護者・教職員）に大きく意識の差のある項目が多かったですが、子ども達は低学年であればあるほど、自分への評価は主鑑定になって当然だと思うので問題は感じず、むしろ豊小の子ども達は自己肯定感が高い印象を受け、安心しました。
- ・「豊かな心の育成」では、この1年を通してよくできている項目とできていない項目の差が大きかったように感じました。挨拶に関してはできない子が多いなと感じています。これは保護者でもできていない方が多いので、大人もできるように働きかける必要があると思います。「主体的で論理的な表現」では、話を聞くことができるものの自分の考えをうまく伝えられない児童は多いように感じます。その背景には、友達や先生に何か言われたらどうしようと考えてしまうのかなと思います。全体を通して「親子一緒に教育」が必要だなと感じました。

4 まとめ

オミクロン株の拡大によって、豊小でも学級閉鎖など日々対応に追われていましたが、3月に入り、少しずつ感染の状況も落ち着いてきたように感じています。これまで当たり前だった様々な行事が中止になったり、例年の形で行えなかったりしました。特に保護者の皆様や地域の皆様にご来校いただき、子どもたちの様子を見ていただく機会が少なかったことが残念でした。保護者の皆様には、毎朝の検温やお子様の自宅待機など様々な形でご協力いただきありがとうございました。まさに地域・保護者・学校が一体となってコロナ対策に取り組んだ一年間でした。職員一同心よりお礼申し上げます。

しかしながら、コロナ収束にはもう少し時間がかかりそうです。来年度も今年度と変わらぬ、ご支援、ご協力をお願いいたします。本校職員一同、この度の学校評価から得た課題をしっかりと受け止め、次年度に生かしたいと思えます。今後も豊小の子ども達が「心豊かに自ら学び自ら考える子の育成」を合言葉に、学校生活を充実させ、大きく成長できるよう取り組んで参ります。